

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 テクニカル電子株式会社  
 コード番号 6716 URL <http://www.technical-e.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部 本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 嶋田 浩司  
 (氏名) 広瀬 薫  
 配当支払開始予定日

TEL 03-3762-5152  
 平成26年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,832	△6.5	55	△82.5	32	△89.0	9	△92.1
26年3月期第2四半期	3,030	12.2	314	20.1	291	52.2	117	22.1

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 4百万円 (△94.3%) 26年3月期第2四半期 76百万円 (△21.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	1.16	—
26年3月期第2四半期	14.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	9,683	2,316	23.9	288.85
26年3月期	8,411	2,360	28.1	294.31

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 2,316百万円 26年3月期 2,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
27年3月期	—	3.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
 27年3月期(予想)の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	3.3	360	△29.2	300	△34.1	180	△22.4	22.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	8,038,100 株	26年3月期	8,038,100 株
27年3月期2Q	17,302 株	26年3月期	16,875 株
27年3月期2Q	8,020,996 株	26年3月期2Q	8,023,264 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示 時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成27年3月期の個別業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	5,500	6.2	380	△24.1	260	△7.4	円 銭 32.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 4
4. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の影響はあったものの、堅調な企業業績を背景に、緩やかな回復基調が続き明るい兆しがみられるようになりましたが、当社グループを取り巻く状況は、中国経済を中心としたアジア経済の減速の影響、消費税増税に伴う影響など依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中で当社グループは駐車場機器及び電子機器部品の開発・販売に加え、施設園芸ハウス向けヒートポンプ空調を始めとした農事用商品の販売及びアクア（水）事業としてRO水浄水器や水プラント用充填機の販売を行い、売上及び利益の向上に努めてまいりました。

当社の主力事業である駐車場関連事業は、駐車場運営事業においては直営駐車場が増加したことにより増収となったものの、駐車場機器事業においては全般的に低調に推移いたしました。また、電子機器部品事業は、モニタ、ディスプレイの電子機器は増収となったものの、ソケット、コネクタの電子部品及び連結子会社E P E(株)のストロボユニット等光機器製品とプレス部品が低調に推移した結果前年同期より減収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績の売上高は28億3,282万円（前年同期比6.5%減）となりました。生産の効率化や経費削減等、原価低減を積極的に推進しましたが、損益面につきましては、営業利益は5,509万円（前年同期比82.5%減）、経常利益は3,219万円（前年同期比89.0%減）、四半期純利益は932万円（前年同期比92.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (駐車場運営事業)

「駐車場運営事業」につきましては、直営駐車場が増加したことにより、売上高は11億9,815万円（前年同期比5.6%増）の増収となりましたが、ガソリン価格の高騰や消費税増税に伴う外出の手控え等の影響からセグメント利益（営業利益）は1億4,328万円（前年同期比31.4%減）の減益となりました。

#### (駐車場機器事業)

「駐車場機器事業」につきましては、バゲート式全自動パーキングシステム“とめタロー”とロック板式集中精算管理システム“T P C-MP 210”を中心に拡販を図りましたが、全般的に低調に推移いたしました。その結果、売上高は6億9,709万円（前年同期比16.6%減）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は4,262万円（前年同期比64.4%減）の減益となりました。

#### (電子機器部品事業)

「電子機器部品事業」の電子機器につきましては、LCDモニタの販売、電子部品につきましては、カスタム品コネクタの販売、各種プレス部品につきましては、デジカメ・携帯電話・HDD用部品、自動車用部品の拡販を図りました。しかしながら、モニタ、ディスプレイの電子機器は増収となったものの、ソケット、コネクタの電子部品及び連結子会社E P E(株)のストロボユニット等光機器製品とプレス部品が低調に推移した結果、売上高は5億4,398万円（前年同期比12.0%減）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は469万円（前年同期比77.5%減）の減益となりました。

#### (不動産賃貸事業)

「不動産賃貸事業」につきましては、前事業年度に東京本社の賃貸不動産を売却したことにより、売上高は1億2,115万円（前年同期比22.5%減）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は5,205万円（前年同期比37.5%減）の減益となりました。

#### (アグリ事業)

「アグリ事業」につきましては、ハウス栽培用ヒートポンプ空調等の農事用商品の拡販を推進しました。売上高は2億3,157万円（前年同期比13.0%減）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は2,809万円（前年同期比49.9%減）の減益となりました。

#### (その他)

その他（アクア事業等）は、アクア（水）事業としてRO水浄水器や水プラント用充填機の拡販を推進しました。売上高は4,086万円（前年同期比114.6%増）の増収となりましたが、セグメント損失（営業損失）は1,414万円（前年同期は224万円のセグメント損失（営業損失））と減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (イ) 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、96億8,361万円（前連結会計年度比12億7,258万円増）となりました。

流動資産につきましては、売掛金が増加し現金及び預金が減少したこと等により、25億4,550万円（前連結会計年度比1億9,599万円減）となりました。

固定資産につきましては、KYパークビル(仙台市)の土地建物を取得したこと等により、71億3,810万円（前連結会計年度比14億6,857万円増）となりました。

#### (ロ) 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、73億6,680万円（前連結会計年度比13億1,647万円増）となりました。

流動負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金及び未払法人税等が増加したこと等により、19億716万円（前連結会計年度比8,819万円増）となりました。

固定負債につきましては、KYパークビル(仙台市)の土地建物を取得したことに伴い長期借入金が増加したこと等により、54億5,964万円（前連結会計年度比12億2,827万円増）となりました。

#### (ハ) 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、23億1,680万円（前連結会計年度比4,389万円減）となりました。前期末の配当金の支払により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローで3億2,086万円減少し、投資活動によるキャッシュ・フローで15億7,396万円減少し、財務活動によるキャッシュ・フローで12億9,763万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ、6億206万円減少し、8億5,043万円となりました。

#### (イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、減少した資金は、3億2,086万円となり前年同四半期連結累計期間と比べ5億2,896万円の増加となりました。これは、売上債権の増加及びたな卸資産が増加したこと等によるものであります。

#### (ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は、15億7,396万円となり、前年同四半期連結累計期間と比べ28億4,040万円の減少となりました。これは、主にKYパークビル(仙台市)の土地建物を取得したことによる有形固定資産の支出等によるものであります。

#### (ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、増加した資金は、12億9,763万円となり、前年同四半期連結累計期間と比べ4億302万円の増加となりました。これは、主に長期借入金による収入が増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月8日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細については、平成26年11月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,482,860	850,432
受取手形及び売掛金	590,523	717,484
たな卸資産	380,507	493,617
その他	298,548	494,368
貸倒引当金	△10,937	△10,394
流動資産合計	2,741,501	2,545,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,542,921	2,007,688
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	674,221	678,223
土地	2,894,829	3,875,787
リース資産(純額)	54,422	43,996
建設仮勘定	5,874	1,452
有形固定資産合計	5,172,268	6,607,149
無形固定資産		
のれん	180,665	166,305
その他	32,953	36,447
無形固定資産合計	213,618	202,753
投資その他の資産		
その他	297,007	341,365
貸倒引当金	△13,359	△13,159
投資その他の資産合計	283,648	328,206
固定資産合計	5,669,535	7,138,109
資産合計	8,411,036	9,683,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	301,276	320,920
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	389,260	385,550
1年内返済予定の長期借入金	572,157	683,815
未払法人税等	290	31,672
引当金	41,820	25,363
その他	474,164	419,840
流動負債合計	1,818,968	1,907,162
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	3,310,026	4,584,317
役員退職慰労引当金	24,754	13,860
退職給付に係る負債	44,563	41,917
その他	772,024	759,552
固定負債合計	4,231,369	5,459,647
負債合計	6,050,338	7,366,809
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,052,850	1,052,850
資本剰余金	236,436	236,436
利益剰余金	1,153,707	1,114,904
自己株式	△4,640	△4,767
株主資本合計	2,438,353	2,399,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	10,832
土地再評価差額金	△117,558	△117,558
為替換算調整勘定	39,777	24,102
その他の包括利益累計額合計	△77,664	△82,624
少数株主持分	10	10
純資産合計	2,360,698	2,316,808
負債純資産合計	8,411,036	9,683,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,030,131	2,832,828
売上原価	2,212,978	2,209,496
売上総利益	817,153	623,332
販売費及び一般管理費	503,103	568,236
営業利益	314,049	55,096
営業外収益		
受取利息	930	930
受取配当金	741	867
受取保険金	-	4,252
為替差益	11,474	-
受取手数料	203	58
貸倒引当金戻入額	769	742
その他	2,391	4,787
営業外収益合計	16,510	11,639
営業外費用		
支払利息	37,765	27,326
為替差損	-	2,823
その他	1,295	4,394
営業外費用合計	39,060	34,543
経常利益	291,499	32,191
特別利益		
固定資産売却益	23,566	-
役員退職慰労引当金戻入額	10,233	14,590
特別利益合計	33,799	14,590
特別損失		
固定資産除却損	8,272	3,385
役員退職慰労金	315,117	-
特別損失合計	323,389	3,385
税金等調整前四半期純利益	1,909	43,396
法人税、住民税及び事業税	20,609	30,782
法人税等調整額	△136,290	3,289
法人税等合計	△115,681	34,071
少数株主損益調整前四半期純利益	117,590	9,324
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	117,590	9,324

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	117,590	9,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	243	10,715
土地再評価差額金	△63,845	-
為替換算調整勘定	22,055	△15,674
その他の包括利益合計	△41,546	△4,959
四半期包括利益	76,044	4,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,044	4,364
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,909	43,396
減価償却費	127,365	124,416
のれん償却額	14,359	14,359
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△769	△742
賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	△16,449
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	20	△8
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△637	-
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,003	3,696
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	△2,306
未払人件費の増減額 (△は減少)	△27,380	△25,861
受取利息及び受取配当金	△1,672	△1,798
支払利息	37,765	27,326
固定資産除売却損益 (△は益)	△15,293	3,385
役員退職慰労金	315,117	-
受取保険金	-	△4,252
役員退職慰労引当金戻入益	△10,233	△14,590
売上債権の増減額 (△は増加)	△115,682	△128,984
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△67,399	△127,287
前渡金の増減額 (△は増加)	△73,144	△94,095
未収入金の増減額 (△は増加)	17,599	△41,775
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,927	20,541
未払費用の増減額 (△は減少)	△10,918	△12,348
未払消費税等の増減額 (△は減少)	39,245	△45,131
長期受入保証金の増減額 (△は減少)	△281,268	20,936
その他	△79,705	△43,242
小計	△73,794	△300,817
利息及び配当金の受取額	1,820	1,798
利息の支払額	△38,441	△27,421
役員退職慰労金の支払額	△646,462	-
保険金の受取額	-	4,252
法人税等の支払額	△92,952	△16,225
法人税等の還付額	-	17,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	△849,829	△320,869

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	60,730
定期預金の預入による支出	△30,007	△30,368
有形固定資産の売却による収入	1,360,490	-
有形固定資産の取得による支出	△58,140	△1,595,252
無形固定資産の取得による支出	△287	△3,320
投資有価証券の取得による支出	△2,125	△2,264
その他	△3,484	△3,484
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,266,445	△1,573,961
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,403	△3,130
長期借入れによる収入	1,300,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△316,140	△311,495
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14,702	△19,939
配当金の支払額	△47,668	△47,671
自己株式の取得による支出	△471	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	894,613	1,297,636
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,946	△4,870
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,322,175	△602,065
現金及び現金同等物の期首残高	800,430	1,452,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,122,605	850,432

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	駐車場運営 事業	駐車場機器 事業	電子機器 部品事業	不動産賃 貸事業	アグリ 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,134,901	835,773	617,808	156,311	266,296	3,011,091	19,039	3,030,131
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,134,901	835,773	617,808	156,311	266,296	3,011,091	19,039	3,030,131
セグメント利益 又は損失(△)	208,818	119,562	20,820	83,227	56,050	488,479	△2,243	486,235

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	488,479
「その他」の区分の損失(△)	△2,243
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△172,186
四半期連結損益計算書の営業利益	314,049

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	駐車場運営 事業	駐車場機器 事業	電子機器 部品事業	不動産賃 貸事業	アグリ 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,198,152	697,099	543,983	121,159	231,572	2,791,967	40,861	2,832,828
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	10,889	—	—	10,889	—	10,889
計	1,198,152	697,099	554,872	121,159	231,572	2,802,857	40,861	2,843,718
セグメント利益 又は損失(△)	143,283	42,629	4,692	52,051	28,098	270,755	△14,144	256,610

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	270,755
「その他」の区分の損失(△)	△14,144
セグメント間取引消去	△10,889
全社費用(注)	△190,625
四半期連結損益計算書の営業利益	55,096

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。